

◆区長の基本姿勢・補正予算について

①新たな基本構想の策定に着手すべき。所見は。②補正予算への区長の所見は。

◆職員育成について

職員育成の育成は極めて重要。視察拡大に向け検討。

◆高齢者施策について

①高齢者が活躍できる支援の検討状況は。②フレイル対策は予防や改善できる支援を。③身近で利用しやすい地域包括支援センターの整備を。

◆高師施策について

①シルバー人材センターで人材派遣事業開始。今後新ビジョンの中で検討。②高齢者向けの新たな手帳作成。③新ビジョンの中で検討。

◆区長の基本姿勢について

①金属探知機を活用しブロック塀の調査を。②通学路にある危険なブロック塀撤去・軽量フェンス設置助成を。③家具転倒防止器具設置への支援を。④移転後の練馬光が丘病院の差額ベッド代は。⑤同病院と高野台新病院の病床配分は。⑥田柄グリーンベルト路線改修への意見集約を。

◆危機管理について

①改めて鉄筋の配置状況を調査。②他自治体の取り組み等踏まえ検討。③消防署と連携した支援を検討中。

◆地域医療について

④利便性に配慮し協議。⑤病床確保に向け両法人と協力し都に強く働きかけ。

◆地域医療の充実について

①練馬光が丘病院、高野台新病院の病床確保の区の調整と取り組みは。②病院整備による医療機能充実は。③差額ベッド代の設定は。④さらなる病床確保が必要。所見は。

◆職員育成について

①運営事業者と協力し都に強く働きかける。高野

◆安全で安心して暮らし続けられるまちづくり

台新病院は100床程度を同一医療圏内の病床移動で整備するよう調整。②循環器・呼吸器系疾患への対応強化、在宅医療の提供体制充実等。③利便性に配慮しつつ運営事業者と協議。④引き続き取り組み。

◆西武新宿線立体化等について

①野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅間の進捗状況は。②

◆防災情報の連携体制を。

①「待ちの防災」から「攻めの防災」に転換すべき。②避難行動に直結する情報伝達等を検討。③都の改定後速やかに全面改定。④ICT活用について検討等。

◆東京2020大会について

①区内全域での機運醸成

◆防災・減災で安全・安心のまち練馬を実現！

②全小中学校へオリリンピ

みどりバスルートの再編とバス増設の進捗状況は。

◆大会開催について

①練馬総合運動場公園の完成記念イベント等は、ラグビー杯を盛り上げるチャンスでは。②初心者スポーツ教室に子どもたちが安全に楽しめるラグビー種目の追加を。

◆石神井松の風文化公園は夜間照明装置の設置を含め充実を。

◆地域文化について

①公共施設や民間施設に一時休館所を。②全小学校体育館に熱中症対策を配備し活用を。③避難場所となる体育館の空調機設置期間10年を短縮を。

◆健康について

①高齢者や乳幼児が利用できる施設の案内も検討。

◆教育について

①一斉配備を含め熱中症予防に万全を期す。③可能な限り早期設置に努める。

◆小児がん対策について

①小児がんへの認識は。②小児がん診断ハンドブックの周知強化を。③眼球内のがん網膜芽細胞腫の啓発推進を。

◆健康について

①早期発見が極めて重要。②医師会と協力し周知を図る等。③乳幼児健診等の機

ベントの開催を検討中。②今後検討。③公園の魅力さらさら生かせるよう検討等。

◆教育について

①区のプログラミング教育の取り組みは。②道徳教育実施状況と今後の見通しは。

◆教育について

◆超過大規模校について

①体育館が2階にある学校の検討状況は。②過大規模校・中村小学校の適正規模に向けての抜本的な対策は。

◆教育について

①校舎等と合わせた改築が効果的かつ効果的。実施計画で改築順序を示す。②あらゆる方策を検討。

◆子育て支援について

①無償化に伴う保育士確保は。②他地域での需給ミスマッチ時にバス送迎の活用を。

◆教育について

①区内保育所勤務の保育士の子どもの保育園入園を優先する等。②地域、年齢ごとの需要を見極め取り組む。

◆都市農業について

①所有者の特定生産緑地選択への支援を。②生産緑地を借りる農家に補助支援の活用拡大を。③農福連携の推進を。④区民農園の充実を。

◆商工振興について

①「花火フェスタ」継続を。②生産性向上特別措置法

◆教育について

①夏の恒例行事として定着させたい。②産業経済

◆進めよう、区民第二主義！

①引き続き現在地以外への移転可能性も検討。暑さ対策は急務。さまざまな区民ニーズを踏まえた機能も検討。

◆地域文化について

①引き続き現地在外への移転可能性も検討。暑さ対策は急務。さまざまな区民ニーズを踏まえた機能も検討。

◆スポーツ振興について

①スポーツに参加できる多様な機会創出を。②推進ビジョンを見直し身近な場所の提供や施設整備を。③練馬総合運動場公園完成イベントの盛大な開催を。④静水会体育館跡地にスポーツ施設整備を。

◆地域文化について

①健康づくり等の分野と連携し、充実に取り組み。②さらなるスポーツ振興の方向性を示し、具体策を検討。③トップアスリートを招いたイベントの開催を検討。

◆都市計画道路について

①補助15号線・232号線は実情を把握して早期事業化と生活再建支援制度活用を。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

◆地域文化について

①健康的な生活を送るよう、健康な時から本人を中心に、医療ケアについて家族等や医療ケアチームと話し合う取り組み。

◆子どもの感染症予防対策について

①妊婦全員面接等で感染

一般質問は、9月10日・11日・12日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会後、概ね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。

◆**区議団実施の区民アンケートと次期ビジョンについて**

問 ①「消費税増税に反対」「認可保育園の増設を」「生活道路の改善を」等アンケートで示された区民の思いに添える対策を。②ビジョン作成の前提となる将来人口や区の財政状況が当初の見込みと変化。それに即した計画変更を。③4割近い区民が出張所の廃止で不便になったと答えた。区の受け止めは。

企画 ①区民の意見・要望を区政に反映させるため毎年区民意識意向調査を実施。②計画は将来を見据えて策定。政策の前提条件は変わっていない。

区民 ③出張所跡施設は地域に必要な施設として利用し、区民に好評を得ている。

◆**災害対策について**

問 ①危険なブロック塀の撤去やフェンス化にも助成せよ。

◆**自然災害対策について**

問 ①今般の災害を受け、「災害対策の再点検」の取り組みは。②「防災の手引」「浸水ハザードマップ」の改定と周知への活用は。③都に河川改修工事や下水道整備のさらなる推進を要望。所見は。④罹災証明書発行態勢の再検証と生活再建支援ができる態勢を。

◆**防災井戸の周知を。**

区長 ①「災害に強く、逃げないで済むまち」の確立に向け、地域防災力の向上に取り組む。②「危険管理」③手引は新たな情報加え改定準備中。マップは都の改定後速やかに全面改定。周知手法も検討。③都に協力し早期完成を目指す。④本年度中に「生活再建支援訓練」実施を計画。必要な態勢を検証し、発行態勢の早期確立に取り組む。⑤周知用プレートとのデザイン更新を検討。

②震災時の負傷防止として区民へ家具転倒防止器具を配布せよ。③災害時、避難所となる区立小中学校体育館への空調機設置助成を都に求めよ。

区長 ①「災害に強く、逃げないで済むまち」の確立に向け地域防災力の向上に取り組む。②来年度、障害者基盤の在り方、

区民の命と暮らしを守るため 災害対策の強化を

日本共産党練馬区議団 島田 拓

他自治体の取り組み等を踏まえ検討。②消防署と連携した高齢者や障害者世帯への訪問指導事業を検討。③教育振興 ④利用できる制度は最大限活用。現状に即した要請を行う。

◆**高齢障がい者の福祉について**

問 ①65歳以上は介護保険への移行が迫られる。それにより負担増となった方へ利用料の軽減を。②政治の勉強会等

◆**区立小中学校体育館(避難拠点)の空調設備設置予定の前倒しについて**

問 概ね10年かけて整備する計画は前倒しを。

◆**教育長** 可能な限り早期に設置できるように努める。

◆**まちづくりについて**

問 ①下石神井の商店街通り

石神井周辺の利便性の向上を!

練馬区議会自由民主党 かわすみ 雅彦

整備の進捗状況は。②補助132号線の通称を公募しては。③石神井公園駅タクシー乗り場の利便性向上を。所見は。

◆**技監** ①沿道権利者の意向を確認し、整備に向けた課題整理を行った。今後解決方策についてさらに協議を進める。

◆**土木** ②今後検討。③「石神井公園駅前タクシー

の活動団体も利用。削除の考えはない。②減免については都市公園条例等に規定。

◆**東京外環道について**

問 ①緊急時の避難計画は住民の不安に配慮するよう国等に求めよ。②工事により危険な酸欠空気が地表に漏れ、国の通達通りの対応を求めよ。③地上部に影響なしとした大深度利用の前提が揺らいでいる。事業の在り方を見直せ。

◆**公の施設の利用について**

問 ①地区区民館等で特定の政治団体を差別する文言を団体登録要綱から削除せよ。②公園占用料の減免の見直しで負担が増え、住民運動に悪影響。減免の対象を広く認めよ。

◆**地域文化** ①政治の勉強会等

一般質問(要約)

◆**健康** ①検診受診者全247人のうち186人が受診。②区医師会と協議し、拡大について検討。

◆**後期高齢者を対象とした歯科健診について**

問 成人歯科健診を75歳以上に拡大し、口腔機能検査を併せて行うべき。区の考えは。

◆**児童館事業について**

問 ねりっこクラブと児童館の関係整理と、今後の児童館機能の考え方は。

◆**教育長** 小学生の主な居場所が、児童館等からねりっこクラブに移行すると考える。今後の児童館は機能を見直し、幅広い年代の子どもの居場所、地域における子育ての拠点としての機能を担う。

◆**区長の基本姿勢について**

問 ①特別区の児童相談所設置に対する議論の状況を踏まえて、区の児童相談行政に対する考えは。②世界都市農業サミットの開催に向けて、生産者の声をどのように計画に反映してきたか。③サミットを通じて発展した、練馬区都市農業の将来像をどのように捉えているのか。④世界都市農業サミットから2020年オリンピック・パラリンピック開催につなげていくために、区民との一体感の醸成にどのように取り組むか。

◆**教育長** ①都の児童相談所に適切なモニタリングのもと安全に施工されると考える。③十分に安全確保を図った上で取り組むよう事業者を求める。

◆**核兵器禁止条約について**

問 ①核抑止力は、核使用も容認するもの。核兵器の非人道性と核抑止についてどう捉えているか。②区長はヒバクシャ署名に協力し、禁止条約参加を国に働きかけよ。

◆**国民健康保険について**

問 ①子の多い世帯ほど保険料負担が重くなっている。区として独自の軽減をせよ。②徴収強化など国や都の非情な要求はきっぱり拒否を。

◆**総務** ①核兵器の非人道性は論を待たない。核抑止については意見を言う立場にない。②非核宣言自治体協議会加盟自治体等の動向を注視。

◆**総務** ①欠陥機オスプレイは練馬にも飛来。配備の危険性を区は認識しているか。②配備に反対し、防衛省と米軍に情報提供を求めよ。

と連携強化し、区ならではのきめ細かい支援策を展開する。④これまで提案してきた、災害協定締結先との実効性ある防災訓練の早期実施を。

◆**副区長** ②練馬の都市農業の魅力が国内外に発信することから開催の目的であり農業者の思い。③生きた農と共存するまち。④PR活動ほか、農業関係者等と連携した全区的な活動に、積極的に取り組む。

災害に強い練馬区に向けて

練馬区議会国民民主党・無所属クラブ 石黒 たつお

◆**災害対策について**

問 ①過去の災害教訓を徹底的に生かした予防対策が必要だが区の認識は。②想定外の災害には対応力を強化していくことが必要。所見は。③災害協定の締結内容については、昭和50年代のものから最近のものまであり、内容の整理も必要と考えるが区の認識は。

◆**国民健康保険について**

問 ①子の多い世帯ほど保険料負担が重くなっている。区として独自の軽減をせよ。②徴収強化など国や都の非情な要求はきっぱり拒否を。

◆**区民** ①特別区長会として国に働きかけている。区独自の施策は考えていない。減額の仕組み等が既に存在。②差し押さえ等の対応は、安定的な財政運営と被保険者間の公平性確保の観点から必要な措置。

◆**保育について**

問 ①認可園を増やし抜本的な底上げを図れ。②規制緩和

存のブロック塀等の安全性に対する区の所見は。

◆**危機管理** ①道路に面した全民有ブロック塀等の調査を実施。②周知強化に取り組む。③多くの区民が不安を感じていると認識。危険なブロック塀の確実な除去方策を関係所管が連携し検討。

◆**成年年齢引き下げについて**

問 ①成年年齢引き下げに対する区の認識は。②事業者や対象年齢以外の区民等に向けた幅広い消費者教育も必要。所見は。③今後の自立支援についての認識は。④今後の成人式の開催方法の早期検討を。

◆**教育長** ①日本の将来に活力をもたらす等。②文科省の通知を踏まえ、全庁的な検討組織を立ち上げ、効果的消費者教育の実施や関係機関の取り組み方策等の協議を進める。④国や都の動向を注視し検討が必要。今後の取り組みは。

◆**総務** ①都が条例提出を予定。制定の考えはない。②第5次男女共同参画計画策定のための調査結果と国等の動向注視し、当事者ニーズに即した支援策等について議論を重ねる。

◆**都市計画道路について**

問 ①計画見直し方針は、名ばかりのパフォーマンスではないか。②補助172号線、放射35号線は、必要性に疑問。区の考えは。③寺社や文化財を壊し、街を分断する道路が妥当か。抜本的に検証をやり直せ。

◆**区長** ①豊かで美しい都市空間を創る道路整備に積極的に取り組む。②基本方針の検証結果は今後の整備に反映。パフォーマンスではない。②ネットワークを形成する重要な道路。③第四次事業化計画で必要性を確認している。

インクルーシブ教育：障害の有無にかかわらず、ともに生活し、ともに学ぶ教育。

◆子育て支援について

問 ①子育て応援券事業を見直しママの心身をケアするメニューの追加を。②一時預かりの拡充を。③保育所の待機児童解消の努力と併せ、一時預かり専用の枠を。④親の自主活動や仲間づくりの支援を。⑤改善策を現在検討中。⑥予約方法等改善の方向で検討。⑦現状の利用者動向には応えている。空き状況等の提供について検討中。⑧子ども家庭支援センターで保護者同士の交流を支援等。

◆教育のあり方について

問 ①「旭丘小中学校のみで先行して小中一貫教育校を設置」という対応方針変更案について。新校開設時、小竹小の通学区域は残るのか。②区内で最も古い小竹小の改築を。③少人数学級の意義とは。④お茶の水女子大学附属小学校

◆防災対策について

問 ①学校の冷温水器朽化への迅速な対応を。②トイレの完全洋式化の早急整備を。③民有地に至るまでブロック塀の調査、撤廃の対策と周知を。④教育長 稼働状況の調査結果を基に必要な対応を進める。⑤危機管理 ⑥早期完了に取り組み。⑦今後道路に面した全ブロック塀等を調査。確実な除去の方策検討。生け垣化等への助成額を増額し周知強化。

◆都市農業について

問 農地保有者への意向調査を精査し、貸借可能となった法施行後も相続への負担軽減や生産緑地保全に向けて行政や専門組合が役割を果たしきめ細やかな策が必要。所見は。①農業と農地を守り、次世代に引き継ぐことは区長としての重大な責務。都市農業調査結果を踏まえ、農業協同

の「ついで科」等、「共同の学び」についての評価は。⑤発達障害児に対し、一人一人に合った合理的配慮ができるよう、研修内容の見直しを。⑥映画「みんなの学校」のよ

一人二人に寄り添い「コミュニティを豊かに

市民の声ねりま 高口 よしひ 教育を引き続き行う。⑦国等への必要要望は今後も継続。区独自で増員する考えはない。◆まちづくりについて ①身近な距離に子どもがのびのびあそべる場を。②放射36号線が横切る開四小正門前に横断歩道の確保を。③大型道路が生活やコミュニティ

教育振興

①当面、旭丘小の通学区域を基本とし小竹小の通学区域からの希望者は柔軟に対応。②改築は総合的に判断。必要な改修は実施。③人間関係の固定化等課題がある。④意義深いもの。各校で取り組んでおり引き続き支援。⑤各職員の研修に位置付け既に実施。⑥きめ細かい特別支援

◆食育による産業振興について

問 ①今後マルシェでは、来場者が農やみどりの大切さを実感できる機会を設け、地産地消の推奨を。②食育で人間性を育む環境を整備し、かつ地元農産物の販路拡大と飲食店の活性化を図るよう検討を。

◆都市農業

①地産地消促進の重要な機会。練馬産農作物を食材とし料理を提供。②子どもたちに親しまれるメニュー等の提供を主催者等に働きかける。ねりまの食育応援店事業と連携し店舗を増やす等。③農業と農地を守り、次世代に引き継ぐことは区長としての重大な責務。都市農業調査結果を踏まえ、農業協同

豊かなまちづくりであらゆる命を育む練馬へ

練馬区議会自由民主党 柴田 わちい

◆区長の基本姿勢について

問 ①水災害対策と災害時の情報発信体制強化について所見は。②内部統制制度の整備により監査の実効性も高まる。内部統制評価制度導入を検討すべき。所見は。③「待ちの防災」から「攻めの防災」に転換すべき。④「攻めの防災」に転換すべき。⑤「攻めの防災」に転換すべき。⑥「攻めの防災」に転換すべき。

◆がん患者や家族の支援

問 ①がん専門の相談所や、社会復帰の支援窓口の設置を。②家族支援の充実と、在宅医療のチームでの支援体制を。

◆みどりを活用した子育て支援について

問 ①保育資源としてみどりを活用への考えと検討は。②練馬区に対する愛情等を伝統産業とともに育めるシステムを。

◆大江戸線延伸について

問 促進活動の強化と他路線の動向を踏まえた所見は。①都に早期着工を強く働きかける。6路線の中で実現の熟度は極めて高い。②「健康」譲渡会の周知図り会場

◆区長の基本姿勢について

問 ①水災害対策と災害時の情報発信体制強化について所見は。②内部統制制度の整備により監査の実効性も高まる。内部統制評価制度導入を検討すべき。所見は。③「待ちの防災」から「攻めの防災」に転換すべき。④「攻めの防災」に転換すべき。⑤「攻めの防災」に転換すべき。⑥「攻めの防災」に転換すべき。

◆働き方に関わる取り組みについて

問 ①人事評価制度の成果と今後の運用は。②育児や介護との両立を支える取り組みは。③人事戦略 ④区民目線を意識することや仕事へのモラル

◆区行政の現状について

問 ①練馬区は23区で最後に誕生した区であることを理由に常に高額の特別区財政調整交付金を受け続けてきた。区政発足から70年以上経過しても自治体として財政の確立が不十分だ。平成29年度決算一般会計歳出総額は2千469億円余だが特別区民税収入は620億円に過ぎない。前川区政は区

◆高齢者福祉の問題について

問 ①区民の高齢化に伴い認知症患者が著しく増加している。大きな問題は長期の介護による家族の介護鬱だ。発症防止の保健対策推進を具体的

一般質問(要約)

教育と保育の無償化開始！今こそ質の向上を

練馬区議会公立憲ねりま 野沢 なな

児童相談に係る連携強化事業への参加による成果と事業計画は。①既に心理職等必要な職員を配置。②職員の相談・対応力等が向上。今後とも連携を強化し区ならではのきめ細かい支援策を展開。③保育料無償化について ④来年10月より保育と幼児教育の無償化が始まる。利用対象者にはどのような周知がされているのか。⑤無償化によるニーズの急増で、保育現場が困窮しないよう対策を。⑥制度の具体的内容は不明。現時点での周知等は

◆区行政の現状について

問 ①練馬区は23区で最後に誕生した区であることを理由に常に高額の特別区財政調整交付金を受け続けてきた。区政発足から70年以上経過しても自治体として財政の確立が不十分だ。平成29年度決算一般会計歳出総額は2千469億円余だが特別区民税収入は620億円に過ぎない。前川区政は区

◆高齢者福祉の問題について

問 ①区民の高齢化に伴い認知症患者が著しく増加している。大きな問題は長期の介護による家族の介護鬱だ。発症防止の保健対策推進を具体的

区行政の現状について

オンブズマン練馬 土屋 としひろ

あるために交付金が増加することはない。区財政は国の財政健全化基準を十分に満たし、財政基盤は確実に強化されている。財政状況は定期的な区報・ホームページで報告するほか、パンフレット公表等積極的な情報提供に取り組んでいる。②ビジョンは重要課題にすべき。③施設入居費も民間施設は高額で月額40万円以上とも言われる。公的施設の充実を。④福祉 ⑤認知症予防推進員の養成等を行っている。今年度から認知機能低下を予防する新たな事業を実施等。⑥月額利用料40万円以上は4施設の

◆教育の場における性教育について

問 学校における性教育と近年の動向についての方針等は。①区内の全私立認可保育所等を訪問し保育内容を確認、支援や指導を実施。②児童福祉法等に基づく指導プランを受けて、相談支援体制強化等について所見は。③「攻めの防災」に転換すべき。④「攻めの防災」に転換すべき。⑤「攻めの防災」に転換すべき。⑥「攻めの防災」に転換すべき。

◆清掃工場のフィルター処理について

問 ①フィルター処理の際には、職員の安全と健康を確保すべき。②排気物質の検査を厳しく行うべき。③フィルターを廃炉の時まで焼却炉に戻し続ける現システムの見直しを指導していくべき。

◆都市農業

特定生産緑地や農地の賃借制度が創設された。全農業者を戸別訪問し後継者の有無等を調査中。調査結果を踏まえ特定生産緑地の指定を勧奨し営農継続支援を行う等生産緑地の保全に努める。

◆区西部南北交通不足対策

問 ①練馬区内の交通網は東西交通を中心に作られ区西部の南北交通が困難だ。大江戸線は大江から南進すべき。②目白通りは通過交通が多い。地下高速度の計画の展望は。③大泉学園町から南進させる計画はない。大江戸線の延伸と合わせて都市計画道路の整備を進め公共交通の充実を努める。④高速練馬線いわゆる首都高速10号線は現時点では国や都に具体的な動きはない。引き続き動向を注視

一般質問は、9月10日・11日・12日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会後、概ね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。